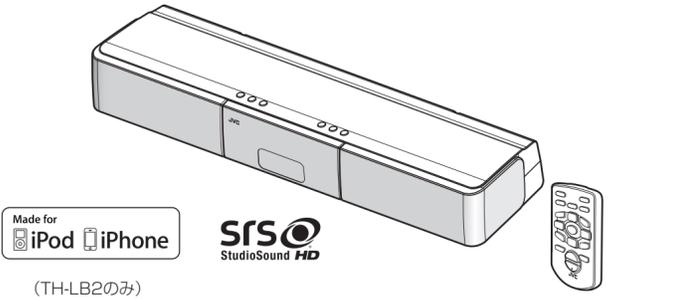
JVC

取扱説明書

ホームシアターサウンドシステム

型名 TH-LB2-B/TH-LB2-W TH-LB1-B/TH-LB1-W

Made for iPod iPhone

SRS StudioSound HD

（TH-LB2のみ）

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。
●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www3.jvckenwood.com/reg/

お買い上げいただきありがとうございます

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

オートパワーセーブ（節電機能）について
本機には、消音状態などが29分間続くと自動で電源が切れる「オートパワーセーブ機能」があり、お買い上げ時には有効になっています。詳しくは2ページの「基本操作」の「APS（オートパワーセーブ）を設定/解除する」をご覧ください。

GVT0342-001B
0911WMKMDWJMM

© 2011 JVC KENWOOD Corporation

はじめに

- 本書ではTH-LB2のイラストを使って説明しています。
- 本書では、主に**TH-LB2のリモコンのボタンを使って**操作説明をしています。本体およびTH-LB1のリモコンに同様のボタンがある場合には、いずれのボタンもお使いいただけます。
- 本書内のイラストは、説明のため簡略化や誇張しているものがあります。
- 本書の説明とは異なる操作でも働く機能があります。
- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPhoneとiPod touchを含めます。iPhoneとiPod touchを指すときは、「iPhone」「iPod touch」と表記します。

TH-LB2のみ: 再生できるiPod

Made for（対応iPod）	音楽	ビデオ
iPod nano（第6世代）	○	○*3
iPod nano（第5世代）	○	○
iPod nano（第4世代）	○	○
iPod nano（第3世代）	○	○
iPod nano（第2世代）	○	—
iPod touch（第4世代）	○	○
iPod touch（第3世代）	○	○
iPod touch（第2世代）	○	○
iPod touch	○	○
iPod classic	○	○
iPhone 4	○	○
iPhone 3GS	○	○
iPhone 3G	○	○

*3 静止画のみ

- iPodの取扱説明書もご覧ください。
- 本機で対応していないiPodを接続した場合、「NOT SUPPORT」と表示されます。
- iPodが正しく再生されないときは、iPodの最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
  - iPodについて詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。
    <http://www.apple.com/jp/>
- iPodの最新の対応状況については、当社ホームページをご覧ください。

本機を設置するときは
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

主な仕様

実用最大出力
60 W (30 W × 2)
(JEITA THD 10%/4 Ω)*1

入出力端子
- アナログ入力
  ANALOG IN: 1 Vrms/50 kΩ
- デジタル入力*2
  DIGITAL IN 1(光):
  −21 dBm 〜 −15 dBm
  (660 nm ± 30 nm)
  DIGITAL IN 2(同軸):
  0.5 V(p-p)/75 Ω
- サブウーハー出力
  SUBWOOFER PRE-OUT
- 電源入力(DC IN):
  DC 19 V ⎓ 3.37 A

スピーカー
- 種類:
  バスレフ方式
- スピーカーユニット:
  6.5 cm × 4
- 最大許容入力:
  30 W
- 定格インピーダンス:
  4 Ω
- 再生周波数帯域:
  75 Hz 〜 23 kHz
- 出力音圧レベル:
  83 dB/W•m

共通
- 電源: 付属のACアダプター(AA-R1904)
  入力: AC 100 − 240 V〜、
  50/60 Hz, 1.5 - 0.9 A
  出力: DC 19 V ⎓ 3.37 A
- 消費電力(電源待機時):
  0.50 W以下
- 外形寸法:
  幅600 mm × 高さ75 mm × 奥行き148 mm
  (スタンド一式取り付け時の最大高さ: 110 mm)
- 質量(スタンド一式は含みません):
  TH-LB2: 3.0 kg
  TH-LB1: 2.9 kg

iPod(TH-LB2のみ)
- 出力:
  DC 5 V ⎓ 1 A
- 接続方式:
  デジタル
- ビデオ出力(VIDEO OUT):
  コンポジット

*1 JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。
*2 リニアPCMのみに対応しています。
(サンプリング周波数: 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz)
– リニアPCM以外の音声信号が入力されると、「NONPCM」と表示されます。

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思ったら

当社ホームページ(http://www3.jvckenwood.com/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。
修理を依頼する前に、下記の項目をチェックしてみてください。

電源が入らない。
➞ 電源プラグをしっかり差し込んでください。

突然電源が切れる。
➞ オートパワーセーブ(節電機能)が設定されています。2ページの「基本操作」の「APS(オートパワーセーブ)を設定/解除する」をご覧ください。

リモコンで本機を操作できない。
➞ 絶縁シートを引き抜いてください。
➞ リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。
➞ リモコンとリモコン受光部の間に障害物を置かないでください。
➞ リモコンをリモコン受光部に向けて操作してください。
➞ 本体に近づいて操作してください。
➞ 新しい電池と交換してください。

テレビのリモコンでテレビを操作できない。
➞ 本機をテレビの前に設置するときは、付属のテレビ用リモコン信号転送ケーブルを接続してください。

音声が聞こえない。
➞ 一時的に消音されています。リモコンの[消音]を押すか、[音量＋]を押して音量を調節してください。
➞ 入力が「DIGITAL1」または「DIGITAL2」のとき、接続したプレーヤーの出力設定を確認し、PCM信号が出力されるように設定してください。

TH-LB2のみ:

iPodがしっかりと接続できない。
➞ iPodおよび本機のコネクター部分が損傷していないか確認し、iPodを接続し直してください。

iPodの音が出ない。
➞ iPodを本機からはずし、もう一度接続してください。

iPodが充電されない。
➞ iPodを本機からはずし、もう一度接続してください。そのあと、電源を入れ直してください。

上記の処置をしても正しく動作しないときは
本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一、雷や静電気などによる動作の異常が発生したときや、ボタン類を押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってから接続し直してください。

準備する　すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

付属品の確認

お使いになる前にお確かめください。不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

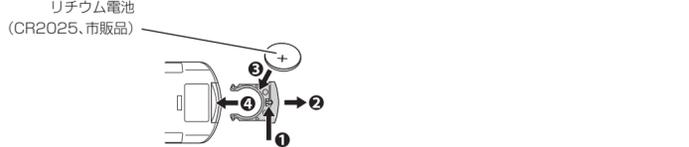
- リモコン RM-STHLB2(TH-LB2用・1個)/RM-STHLB1(TH-LB1用・1個)
- ACアダプター AA-R1904(1個)
- 電源コード(1個)
- リチウム電池 CR2025（リモコン動作確認用・1個）
  – 出荷時にリモコンの中に入っています。
- コアフィルター(3個)
- 光デジタル音声コード(1個)
- テレビ用リモコン信号転送ケーブル(1個)
- 両面接着テープ(1個)
- スタンド一式
  – スタンド(2個)*4
  – スタンドベース(2個)*4
  – フットスペーサー(2個)*4
  – スタンド/スタンドベース用ねじ(M2.6 × 10 mm) (8個)

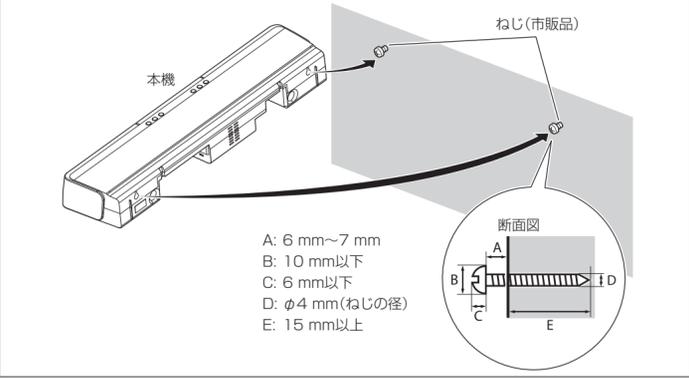
*4 出荷時はテープでまとめられていますので、はがしてお使いください。

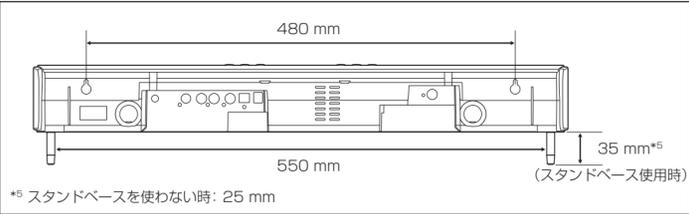
リモコンの準備

初めてリモコンを使用するときには、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。
操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。

電池を交換する
電池ぶたを引き出し、電池の＋面を上にして入れてください。

リチウム電池
(CR2025、市販品)

ご注意
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は、別紙の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

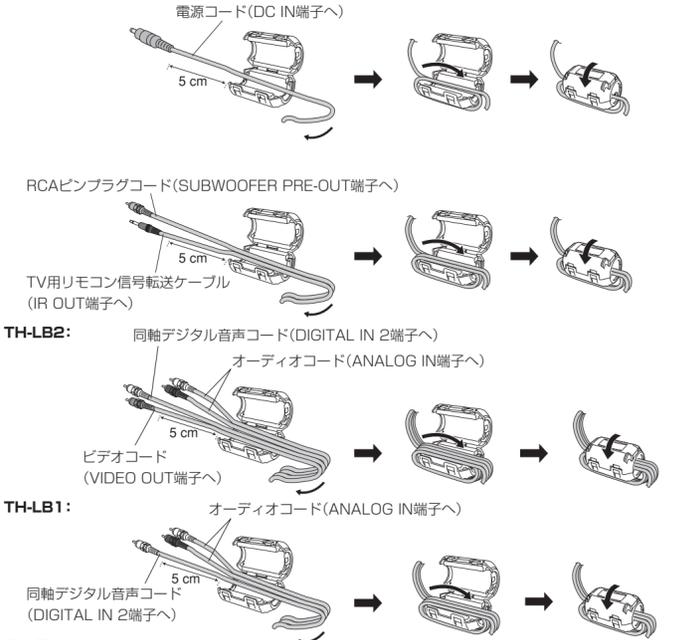
壁への取り付け
本機は壁に取り付けることができます。

ご注意
- TH-LB2の質量は約3.0 kg、TH-LB1は約2.9 kgです。落下による事故を防ぐために、取り付けるときには注意してください。
- 落下を防ぐためにも、十分な強度を持つ柱や壁、ねじを用いて取り付けてください。
- ベニヤ板や石膏ボード類には設置しないでください。落下する恐れがあります。
- 壁に取り付けるときは、以下のことに注意してください。
  – 必ず専門の業者に依頼してください。
  – 取り付ける場所は慎重に選んでください。日常生活の妨げになる場所は避けてください。けがをしたり物が破損する場合があります。
  – 付属のACアダプターを他の物の上に掛けたり設置したりしないでください。必ず平らな床に置いてください。
- 壁に取り付けるときは、付属のスタンド一式を使用しないでください。

*5 スタンドベースを使わない時: 25 mm

コアフィルターの取り付け

ノイズを軽減させるため、付属のコアフィルターを電源コードと外部機器のコードに必ず取り付けてください。
コアフィルターにコードを通し、さらにコードを一巻きさせてください。巻いたあと「カチッ」という音が鳴るまで閉めてください。(コードは図のようにまとめて巻きつけてください。)

TH-LB2:

TH-LB1:

オーディオコード(ANALOG IN端子へ)
同軸デジタル音声コード
(DIGITAL IN 2端子へ)

ご注意
- 巻き付けるときに無理な力を加えてコードを引っ張ったりすると、コードを損傷させる恐れがあります。

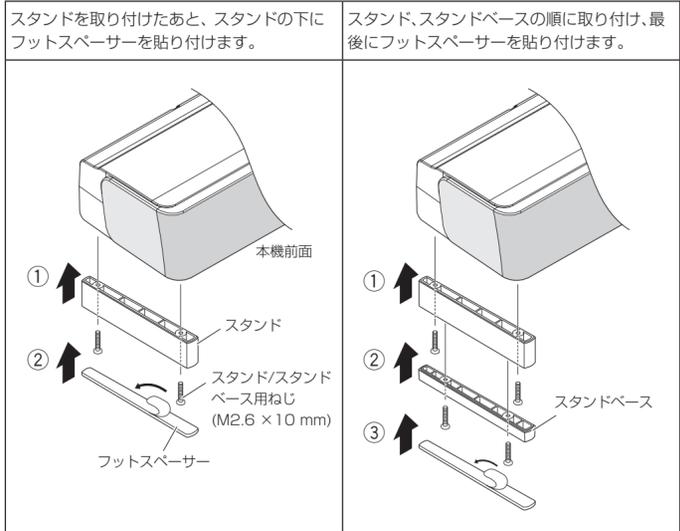
本機の設置

よりよい音質を確保するため、本機は段差のない平らな場所に設置してください。
- 音質は本機の設置場所や向きにより変化しますので、最適な場所や向きを選んで設置してください。
- ブラウン管テレビをお使いの場合:
  本機のスピーカーは、防磁設計になっておりません。テレビの近くに設置するときは、テレビに色ムラが生じない位置まで離してください。

ご注意
- 本機を床やテーブルの上で引きずったり、押して動かしたりしないでください。底のフットスペーサーが本機からはがれたり、取れてしまう原因となります。

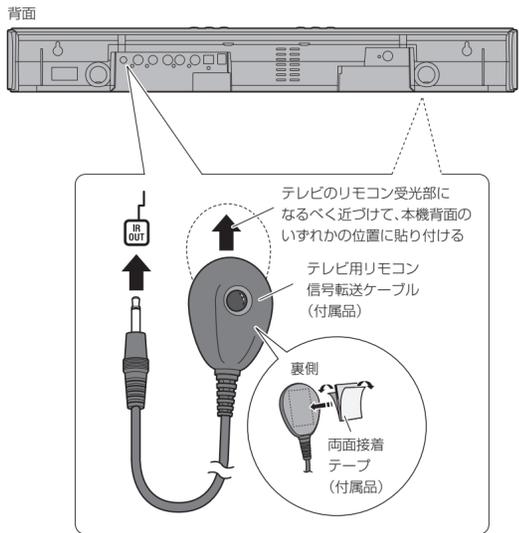
スタンドの取り付け
付属のスタンド一式を使って、本機の高さを調節できます。特に、本機をテレビの前に設置するときは、テレビの脚をまたぐようにして設置できます。

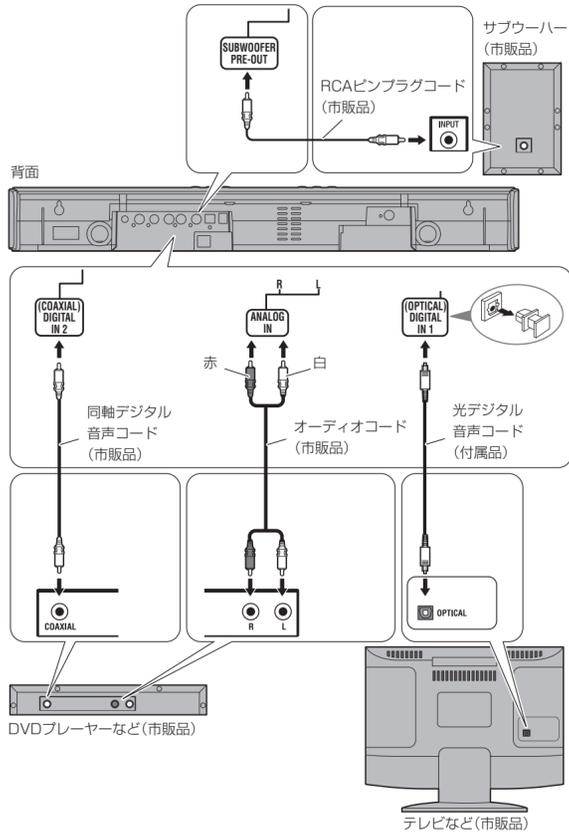
スタンドベースの有無により、高さを2段階に調節できます:

スタンドを取り付けたあと、スタンドの下にフットスペーサーを貼り付けます。	スタンド、スタンドベースの順に取り付け、最後にフットスペーサーを貼り付けます。
本機前面 / ① スタンド / ② スタンド/スタンドベース用ねじ (M2.6 ×10 mm) / フットスペーサー	① ② スタンドベース ③

ご注意
- スタンド、スタンドベース、フットスペーサーは、それぞれ幅の広いほうを本機前面側に向け、本機底面のくぼみに合わせて取り付けてください。
- スタンド、スタンドベース、フットスペーサーは、左右どちらにでも使用できます。

テレビ用リモコン信号転送ケーブルの接続

テレビの前に本機を設置すると、本機がテレビのリモコン信号をさえぎって、テレビ本体に届かないことがあります。付属のテレビ用リモコン信号転送ケーブルを本機に接続することによって、テレビのリモコン信号を転送することができます。
下図のように、テレビ用リモコン信号転送ケーブルをIR OUT端子に接続してください。ケーブルをお使いのテレビのリモコン受光部になるべく近づけて、本機背面に貼り付けてください。

ご注意
- テレビ用リモコン信号転送ケーブルを本機に接続しても、テレビによってはテレビのリモコン信号を受信できない場合があります。これは、お使いのテレビのリモコン出力赤外線周波数と本機のリモコンセンサーの可能受光周波数が異なるためです。

外部機器の接続

ANALOG IN端子にはアナログ音声機器を、DIGITAL IN 1端子とDIGITAL IN 2端子にはデジタル音声機器を接続できます。
また、SUBWOOFER PRE-OUT端子にはサブウーハーを接続できます。

TH-LB2のみ：テレビの接続ーiPodのビデオや写真をテレビで見る

本機に接続したiPodのビデオや写真をテレビで見ることができます。テレビのビデオ入力端子と本機のVIDEO OUT端子を市販のビデオコードで接続してください。

映像出力を設定する

入力が「IPOD」で、iPodが本機に接続されていないときに…

iPod ▶/II（本体のボタン）を押しつづける

VIDEO OFF（iPodの映像がiPod本体に表示されます）
⟷VIDEO ON（iPodの映像がテレビに表示されます）

- srs StudioSound HD は、SRS Labs, Inc. の商標です。
- StudioSound HD技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- SSHD：SRS Labs, Inc. のStudioSound HD技術を使用しています。
  SRS StudioSound HD™ は、安定した音量を維持し、豊かな重低音およびクリアな台詞を提供しながら、フロント向スピーカーシステムから極めて広がり感のあるサラウンドサウンドを提供します。
- TVOL：SRS Labs, Inc. のTruVolume技術を使用しています。SRS TruVolume™ は、安定した音量を維持することから、リスナーは、音量の変動に煩わされることなく、一度設定した好みの音量で、テレビ、音楽およびその他のコンテンツを楽しむことができます。
- “Made for iPod”、“Made for iPhone”とは、それぞれiPod、iPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリーをiPod、iPhoneで使用すると、無線性能に影響することがありますので、ご注意ください。
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

電源コードの接続

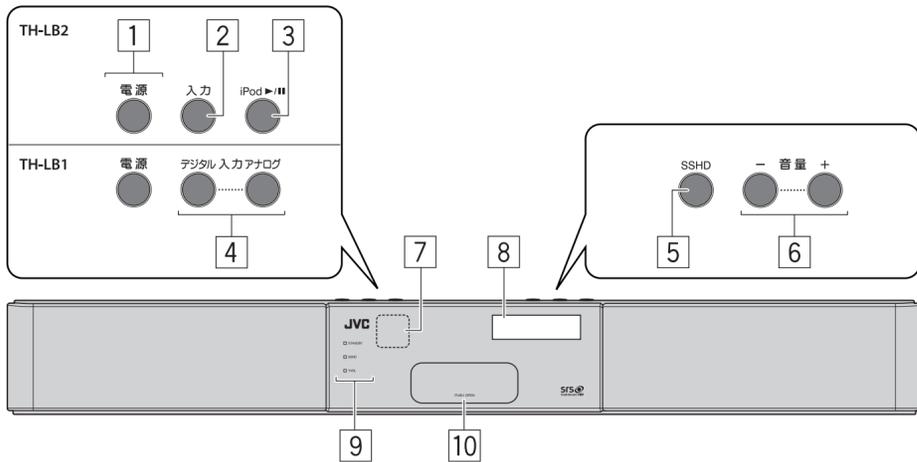
電源コードは、すべての接続が終わってから接続してください。
- 付属のACアダプターを本機のDC IN端子に接続してください。付属の電源コードをACアダプターに接続してから、コンセントに差し込んでください。
- 火災や感電を防ぐために
  - 付属のACアダプター以外は使用しないでください。
  - 付属のACアダプターを本機以外の製品には使用しないでください。

ご注意
- 本機の掃除や移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

操作する

TH-LB2

TH-LB1

フロントパネルのボタンとランプ

1 **電源ボタン**
電源をオン/オフします。

2 **入力ボタン（TH-LB2のみ）**
くりかえし押すと、入力が「DIGITAL1（DGTL1）」➡「DIGITAL2（DGTL2）」➡「ANALOG」の順に切り換わります。

3 **iPod ▶/II ボタン（TH-LB2のみ）**
接続したiPodを再生します。

4 **デジタル入力ボタン/アナログ入力ボタン（TH-LB1のみ）**
[デジタル入力]をくりかえし押すと、入力が「DIGITAL1」/「DIGITAL2」に、[アナログ入力]を押すと、「ANALOG」に切り換わります。

5 **SSHDボタン**
StudioSound HDのオン/オフを切り換えます。

6 **音量＋/ーボタン**
音量を調節します。

7 **リモコン受光部**
リモコン信号を受信します。

8 **ディスプレイ**
音量や現在の入力、設定を表示します。

9 **スタンバイランプ**
- 電源が切れているときに点灯します。

SSHDランプ
- StudioSound HDが有効のときに点灯します。

TVOLランプ
- TruVolumeが有効のときに点灯します。

10 **iPod用ドックトレイ（TH-LB2のみ）**
トレイを押すとiPod用ドックが開きます。

基本操作

電源を入れる/切る

[⏻/I]を押す

お知らせ
- 電源を切っている状態（待機状態）でもわずかに電力を消費します。待機中はフロントパネルのスタンバイランプが点灯します。完全に電源を切るには、電源プラグを抜いてください。
- 次のいずれかのボタンを押しても電源を入れることができます。
  - TH-LB2: [デジタル1]、[デジタル2]、[アナログ]、[iPod ▶/II]
  - TH-LB1: [デジタル入力1]、[デジタル入力2]、[アナログ入力]

APS（オートパワーセーブ）を設定/解除する

本機を使用していないときに、自動的に電源を切ることができます。

[APS]を押しつづける

APS ON⟷APS OFF
- 何の操作もなく、次のいずれかの状態が29分間続いたとき、本機の電源が自動的に切れます。
  すべての入力:
  音量が0、または消音されている状態
  「DIGITAL1」または「DIGITAL2」:
  光デジタル音声コードまたは同軸デジタル音声コードが接続されていない、または接続されているが信号の入力がない状態
  「IPOD」（TH-LB2のみ）:
  iPodが接続されていない状態

無操作のまま、上記のいずれかの状態になると…「APS」表示が1分ごとに1秒間点灯し、最後に30秒間点滅して本機の電源が切れます。

入力を切り換える

次のいずれかのボタンを押す
- [デジタル1]/[デジタル入力1]（DIGITAL IN 1端子接続）
- [デジタル2]/[デジタル入力2]（DIGITAL IN 2端子接続）
- [アナログ]/[アナログ入力]（ANALOG IN端子接続）
- [iPod ▶/II]（TH-LB2のみ）

ディスプレイに「DIGITAL1」、「DIGITAL2」、「ANALOG」または「IPOD」（TH-LB2のみ）と表示されます。

音量を調節する

[音量＋]または[音量－]を押す
- 0（VOL MIN）から40（VOL MAX）の範囲で調節できます。

ご注意
- 音を出す前には音量を小さくしてください。大音量に設定されていると、スピーカーが破損したり、聴覚障害の原因となることがあります。

一時的に消音する

[消音]を押す
- 音量を元にもどすには、もう一度[消音]を押すか、[音量＋]を押して音量を調節してください。

音量を平均化する

TruVolume（TVOL）により、音量の急激な変化を抑え、安定した自然な音声を楽しむことができます。

[TVOL]を押す

TVOL ON⟷TVOL OFF

ディスプレイの明るさを変える

フロントパネルのディスプレイの明るさを変えることができます。

[ディマー]を押す

DIMMER OFF（通常の明るさ）➡DIMMER 1（暗くなる）➡DIMMER 2（さらに暗くなる）

音質を調節する

低音と高音それぞれのレベルを－3から＋3の範囲で調節することができます。

1 [低音/高音]をくりかえし押して、調節したい帯域を選ぶ
  - BASS: 低音の調節
  - TREBLE: 高音の調節

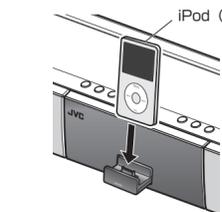
2 音質を調節する
  - TH-LB2：[アップ]または[ダウン]を押します。
  - TH-LB1：[音量＋]または[音量－]を押します。

サラウンドを使う

StudioSound HD（SSHD）により、臨場感あふれるサラウンド効果を得ることができます。

[SSHD]を押す

SSHD ON⟷SSHD OFF

iPodを再生する（TH-LB2のみ）

iPodを接続する

電源が切れているときに…

1 トレイ（10）を押してiPod用ドックを開く

2 iPodをコネクター部分に接続する
- iPod用カバーやアクセサリーを装着している場合は、はずしてから接続してください。
- iPodを抜き差しするときは、あらかじめ本機の電源を切ってください。
- iPodは、しっかり差し込んでください。
- iPodは、まっすぐ抜き差ししてください。
- iPodを接続したまま本機を移動させないでください。iPod用ドックが破損したり、iPodが落下して破損するおそれがあります。
- 本機のコネクターの端子部分に直接触ったり、物を当てたりしないでください。破損の原因となります。
- 本機の電源が入っているとき、接続しているiPodが充電されます。

再生する

[iPod ▶/II]を押す
- 本機の電源が切れているときに[iPod ▶/II]を押すと、電源が入りiPodが再生されます。

早送りまたは早戻しする

[▶▶I]または[I◀◀]を押しつづける

一時停止する/再開する

[iPod ▶/II]を押す

次の曲にすすむ

[▶▶I]を押す

前の曲にもどる

[I◀◀]を2回以上くりかえして押す

曲の先頭にもどる

[I◀◀]を1回押す

iPodをスリープさせる

[iPod ▶/II]を押しつづける

メニューを表示する/前のメニューに戻る

[メニュー]を押す

メニュー上の項目を選ぶ

[アップ]または[ダウン]を押して[選択]を押す
- iPodの種類により、動作が異なることがあります。
- 一部のiPodでは、メニュー画面の操作を行なうときは、iPodで操作してください。

ご注意:
- iPhoneまたはiPod touchの接続中に次の操作を行なうときは、iPhoneやiPod touchで操作します。
  - ホームボタンを押す
  - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
  - スライダーをドラッグする
- iPodのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。